

無限大∞の響き—
師弟を超えた魂のビッグバン

キリル・
ゲルシュタイン

藤田真央

ピアノ・デュオ・リサイタル

12/5 金 開演 18:45
(開場 18:00)

愛知県芸術劇場コンサートホール

プログラム

シューベルト:創作主題による8つの変奏曲 変イ長調 D813 Op.35
シューマン:アンダンテと変奏曲 変ロ長調 Op.46
ラヴェル:ラ・ヴァルス
プーニ:モーツァルトの「ピアノ協奏曲 第19番」の終曲による
協奏的小二重奏曲
ラフマニノフ:交響的舞曲 Op.45

©Kaupo Kikkas

料金 全席指定(税込)

S席 15,000円 A席 9,000円 B席 6,000円 U25席 3,000円

一般発売 8/5(火) 10:00~

チケットの
お取扱い

●アイ・チケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
●e+(イープラス) <https://eplus.jp>

●チケットぴあ <https://t.pia.jp>
+ (Pコード:294-605)
●芸文プレイガイド 052-972-0430

●ローソンチケット <https://l-tike.com/>
+ (Lコード:41153)
●CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

主催 / CBCテレビ



©Kaupo Kikkas

キリル・ゲルシュタイン *Profile*

ピアニスト、キリル・ゲルシュタインのレガシーは、ロシア、アメリカ、そして中央ヨーロッパの伝統と、飽くなき好奇心を融合させた音楽作りにある。これらの資質とオーケストラ、指揮者、器楽奏者、歌手や作曲家たちと築き上げた関係性が新旧両方の音楽のレパートリーへの探求を可能としている。パッハからアデスまで、ゲルシュタインの演奏は明快な表現、優れた洞察力と知性、巧みな技術、そしてエネルギーで想像力豊かな音楽性と存在感が、彼をトップの演奏家たらしめている。

ロシアのヴォロネジ生まれ。14歳で渡米し、史上最年少でバークリー音楽大学の学生となる。その後ドミトリ・パシキーロフとフェレンツ・ラドシュに師事。第10回アルトゥール・ルービンシュタイン・コンクール優勝、2002年にはギルモア・ヤング・アーティスト・アワードを受賞。2010年には、エイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラントとギルモア・アーティスト・アワードの両方を受賞し、その賞金をもとに、ティモ・アンドレス、チック・コリア、アレクサンダー・ゲール、オリヴァー・ナッセン、ブラッド・メルドーらに新曲の委嘱もしている。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ボストン響、ニューヨーク・フィル、ロンドン交響楽団等、数々の著名な交響楽団と共演。ウィーンのコツェルトハウスをはじめ、ウィーン楽友協会、ロンドンのウイグモア・ホール、ストックホルム・コンサートホールなど世界各地の権威あるホールでリサイタルを行っている。丁寧にキュレーションされたキリル・ゲルシュタインのミロス・クラシックスの最近の録音プロジェクトには、ボストン交響楽団とサカリ・オラモとの録音によるブゾーニの記念碑的なピアノ協奏曲や、スチーム・ラージと、ゲルシュタインの以前のメンターであるゲイリー・バートンが特別に参加した「ザ・ガーシュウィン・モーメント」、ニューヨーク誌に2016年の注目盤に選出されたリストの「超絶技巧練習曲集」、そして「チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番」(1879年版)などがある。また、音楽家にとって教育に携わることは不可欠と考え、2007年から2017年の間、シュトゥットガルト音楽大学でピアノ・クラスを指導した。2018年10月には、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でピアノの教授に就任。さらに、クロンベルク・アカデミーの新設の「サー・アンドラーシュ・シフ・パフォーマンス・プログラム・フォー・ヤング・アーティスト」でも後進の指導にあたっている。

©Kaupo Kikkas

藤田 真央 *Profile*

2017年、弱冠18歳で第27回クララ・ハスكيل国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。

2019年チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞し、審査員や聴衆から熱狂的に支持され世界の注目を集めた。

自然体で奏でられる、繊細かつヴィルトゥオーゾを持ち合わせた唯一無二の美しい音色が高く評価され、次々と世界の檜舞台に招かれる。

ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、エディンバラ国際音楽祭、ラ・ロック＝ダントロン国際ピアノ音楽祭、ツィンタリ音楽祭など主要な音楽祭へ定期的に出演。2024年8月、フルシャ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団との共演でBBCプロムスにデビュー。同年10月、アン・デア・ウィーン劇場リニューアル記念コンサートにウィーン交響楽団と出演。11月にはカーネギー・ホールにてホール主催のソロ・リサイタルで再登場。その他、プラハ、ミュンヘン、アムステルダム、ベルリン、ケルン、チューリッヒ、シカゴなどの欧米主要都市でソロ・リサイタルを行う。

また24/25シーズンはカメラータ・ザルツブルクとの欧州ツアーに参加し、フィンランド放送交響楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ワシントン・ナショナル管弦楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団などにデビューする。クリストフ・エッセンバッハ、リッカルド・シャイー、アンドリス・ネルソンス、マレク・ヤノフスキ、セミヨン・ビシュコフ、ヴァシリー・ペトレンコ、ベトル・ボペルカといった指揮者たちからの信頼も厚い。

2021年11月、ソニークラシカル・インターナショナルと専属レコーディングのマルチアルバム契約を締結し、2022年10月にはくモーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲集をリリース。このアルバムは、ドイツのクラシック音楽界で最も権威のある賞のひとつ、オーパス・クラシック賞2023にてYoung Artist of the Yearに選出。2024年9月に＜72 Preludes ショパン/スクリャービン/矢代秋雄：24の前奏曲＞をリリース。

※客席内での写真撮影、録音、録画、携帯電話の使用、またはこれらに類する行為は固くお断りします。 ※車椅子のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。
※やむを得ない事情で公演内容など変更になる場合がございます。公演中止を除き、チケットのキャンセル・変更はできません。 ※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りします。

お問合せ：CBCテレビ事業部 ☎ 052-241-8118 10:00~18:00(土・日・祝休み)